

「わっしょい!!」 収穫に感謝を込めて



10月7日、五穀豊穡祈願と収穫への感謝を込めて上奈良地区で御園神社秋祭が行われ、「ずいきみこし」が区内を巡行しました。

みこしは区内の老人クラブ「御園クラブ」のメンバーによって、サトイモの茎(ズイキ)で屋根をふき、まっかなトウガラシなど今年収穫した約30種類の野菜で飾り付けられました。

揃いの法被に身を包んだ子ども達や担ぎ手らが「わっしょい、わっしょい」と元気な掛け声を響かせながらみこしとともに区内を練り歩いた後、みこしを神前に献備しました。

また、天狗面をつけた子ども

御園神社秋祭「ずいきみこし」



もによる「王の舞」や若者2人による「獅子舞」も交互に2回ずつ奉納されました。

獅子頭の口を閉じる時に鳴る音の大小によって豊作の程度を占うとされる「獅子舞」において、「パンツ」と大きな音が境内に響くと、観客から拍手と歓声が沸き起こっていました。

「獅子舞」の奉納
ずいきみこしを担いで練り歩く担ぎ手達

おやこライブ@やわた開催

歌や踊り楽しむ

生涯学習センターでヒキダシワークショップによる「おやこライブ@やわた」が10月20日に開催されました。参加した119人の親子連れらが一緒になって歌や踊りを楽しみました。

ヒキダシワークショップは、「さよなら大好きな人」などで知られる女性デュオ「花*花」のこじまいづみさんら4人が平成21年4月に結成。メンバーや参加者が楽しみを分かち合いながら互いの才能を引き出し合おう、と関西圏を中心にイベント活動な

どを行っています。

ライブはピアノや西アフリカの太鼓「ジャンベ」の音色に合わせた手遊びや朗読劇、ダンスなど親子で楽しめる内容が盛りだくさん。ダンスでは、輪になった参加者がジャンベの軽快なリズムに乗って盆踊りなどを踊りました。

参加した親子3人は「歌を覚え始めた1歳の子どもが音楽に合わせて楽しそうに体を動かし、喜んでくれたので良かったです」とにこやかに話していました。



「花*花」のこじまいづみさんとふれあう参加者たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



パン食い競争に挑戦する競技者達

みんな楽しく全力プレー

八幡市障がい者スポーツ大会

スポーツを通じて多くの市民がふれあいを深めようと「八幡市障がい者スポーツ大会」が10月13日、市民体育館で開催されました。

今年で34回目を迎えた同大会は市と市教育委員会が主催し、身体障害者協会など多くの団体の協力を得て行われました。

大会では紅白に分かれた参加者227人が勝利を目指して「パン食い競争」や「玉入れ」など7種目に挑戦しました。

両組とも一歩も譲らず、僅差で迎えた最終種目の「玉入れ」では「一度に1個ずつではなく、沢山持って投げ入れて」と掛け声が飛び出すなど、大盛り上がり。家族らの声援を受け、参加者はみんな楽しく全力プレーを見せていました。

紅組に参加した内海可奈絵さんは「スポーツ大会はみんなと一緒に出来るので、毎年楽しい」と充実した表情を浮かべていました。

京都八幡高2年浅井選手 ぎふ清流国体で初優勝

レスリング少年男子フリースタイル74kg級

9月30日～10月3日に岐阜県で開かれた、ぎふ清流国体レスリング競技会少年男子フリースタイル74kg級で、京都八幡高校2年の浅井翼選手が初優勝を飾りました。

「負けるとショックで、その都度何故負けたのか考える」という浅井選手、春の選抜、夏のインターハイともにあと一歩で優勝を逃した悔しい経験をバネに、体幹を強化して今大会に臨みました。

2回戦、準々決勝、準決勝を大差で勝ち抜き、決勝では世界カデット選手権3位の強

悔しさバネに体幹強化

敵、帝京高校の白井勝太選手と対戦。得意のタックルで攻め抜き、2ラウンドを3-0、4-1と相手を圧倒しました。

浅井努監督は「選抜、インターハイでは攻めるものの、持ち味の手足の長さを生かしたタックルがなかなか決まらなかったが、ここ数カ月でスピード、キレが一段と増した」と成長に目を細めています。

大会を振り返って、浅井選手は「優勝は率直に嬉しい。来年は三冠、将来は五輪で金メダルを取りたい」と力強く話していました。



タックルに行く間合いを測る浅井翼選手(右)